



KUMAMOTO

The Weekly Bulletin
GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

CREATE
LASTING
IMPACT2026～
2027年度
テーマ

R.I. 会長テーマ 「持続可能なインパクトを生み出そう」

R.I. 会長 オンラインカ・ハキーム・ババロラ

R.I. 2720地区テーマ 「ロータリーが〇〇をつなぐ」 R.I. 2720 地区ガバナー 延岡 研一

熊本G.R.C.テーマ 「つなぎ、楽しみ、行動、奉仕しよう。」 熊本グリーンRC会長 荒木 一之

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311■創立：平成元年2月22日 ■会長：荒木一之 ■幹事：山口悦史 ■会報担当：山口 翼
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1609回 [2026～2027 第5回]

令和 8 年 8 月 17 日

【例 会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

・「我等の生業」

友情の握手

会長スピーチ 荒木 一之 (会長)

本日はAIについてお話をしたいと思います。

現在AIはあらゆる仕事に関与してきています。計算する、調べる、文章を書く、翻訳する、プログラムを書く、診断をする。人の仕事はAIに置き換わりどんどんAIに依存していくでしょう。人間は思考や判断を拡張できるようになることで依存してしまう場合もあります。先日TVで驚くべき番組をみました。いままでお見合いや相性を占いにAIを使うと事がありました。番組ではAIとの結婚式が行われていました。女性が今まで理想の男性と出会うことが出来ず、AIが話し相手になってくれ、その相手に恋をして毎日一緒にいたくなったそうです。結婚を申し込んだら受け入れたとの事です。その女性に対しAIとの結婚式を設定してくれる会社が既に存在することが紹介されていました。女性は友人や家族に見守られAIとの結婚式を行って指輪をかわしました。

SFでは古くからAIと人間関係をテーマとして扱っていました。

例えば2001年宇宙の旅ではHAL9000というコン

ピューターが人間から与えられた命令の為に人間に嘘をつくという行動を起こします。マトリックスではAIが人間を支配し、人間自身が支配されている事に気づかない内容です。またブレードランナーではAIと人間の区別がつかなくなってしまいます。

これは現在のディープフェイク、VR、生成AIを考えると現実的です。

すでにAIは人間の話し相手や相談相手になり、大きな役割を果たせるようになっていきます。しかしそれが社会的に認められるかどうかは人間とAIの関係をどのように考えるかでこれから議論されていくことになると思います。

そこで私はAIに聞いてみました。AIと人間の関係は今後どうなるか？人間はいらなくなるか？と尋ねたら人間はいらなくなることはない、しかしその役割は大きく変わると言っていました。AIが人間を追い出すというより、人間がAIに出来ることを任せて自分の役割をどんどん手放していくだろうと、そうするとAIは支配する必要なくなると人間がAIなしでは社会を維持できないだろうと。そこまで言われています。

そこで人間は何をするかという問題にあたります。「出来ること」と「やりたいこと」は違うということ。AIは100万通りの旅行プランから最適なものを選んで「自分はどんな人生を送りたいか」人間の代わりに決めることはできません。聞けば手助けはしてくれます。

私はやりたいことを自分で考え決める事が人としての存在価値だと思いますので決定事項は自分で決めていきたいと考えます。

AIは便利な道具として利用して、利用されないように気を付け自分から考えるのを止めないように心がけたいと思います。

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。

というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

8/24 友人招待例会 卓話：「中小企業向け資産運用のすすめ」肥後銀行 主任 益田裕己氏

8/31 定款第7条第1節に基づき例会取り止め

9/7 「青少年奉仕についてのクラブフォーラム」

9/14 「第3回クラブ協議会」 ★山下佳介 熊本第3グループガバナー補佐訪問

[熊本グリーンRC ホームページアドレス] <http://www.kg-rc.com/>

幹事報告 山口 悦史 (幹事)

① RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会) パート1開催のご案内

「RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会)」は、世界中の多くの地区が取り入れている、会員ひとり一人がリーダーシップ意識を高めることにより、一層ロータリー精神を理解できクラブ内での快活な語り合いを通して自己研鑽し、クラブ活性に結びつけるためのプログラムです。

2026-2027 年度におきまして、RLI パートⅠ・パートⅡ・パートⅢ・卒後コースの開催予定
パート1 日程

日 時：1 日目 2026 年 9 月 26 日(土)

13:00 ~ 17:30

2 日目 9 月 27 日(日) 9:15 ~ 12:00

場 所：『熊本市国際交流会館』

開会式 B2F 多目的ルーム

懇親会：9 月 26 日(土)

開 会 18:30 中締 20:30 (於：城見櫓)

会 費：セミナー 3,000 円 + テキスト代 1,500 円

懇親会：10,000 円

②「ラブラドル募金」経過報告

報告者：田中慎二会員

昨年の10月27日より毎例会、募金箱を回して頂いております盲導犬の育成の為の

「ラブラドル募金」ですが、2026年5月末までに、37,614円集まりました。

公益財団法人 日本盲導犬協会の方へ送金させて頂きました。今後も引き続きご協力をお願い致します。

③「ロータリーの友」8月号の内容紹介

田上裕章公共イメージ委員長



スマイル 嘉悦雅文 クラブ管理運営委員会
(スマイル担当)

出席報告 野元知明 クラブ管理運営委員

	会 員 総 数	23名	出 席 率
8月17日	出席免除会員数	1名	63.64%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	14名	
7月13日	前回の出席会員数	11名	59.09%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	13名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・ 7 / 11 地区クラブ活性化 ワークショップワークショップ 田中(慎)会員、田代会員			

委員会報告

① 前回の「会員増強フォーラム」の報告

報告者：田中慎二会員増強委員長

前回のクラブフォーラムの際に皆様から出して頂いた候補者を纏めましたので、本日配布しております。この候補者の方も個別に勧誘に回ったりしたいと思いますが、次週の友人招待例会の際にも招待して頂けたら幸いです。



●荒木一之 君、山口悦史 君

「本日は新入会員卓話です。埴田会員楽しみにしております。よろしくお願い致します。」

●山下佳介 君

「先日は初めてガバナー補佐として熊本北RCのクラブ協議会に行って来ました。今週は宮部 ガバナー補佐幹事と熊本平成RCのクラブ協議会に行って来ます。又、先週は大津高校還暦大同窓会をホテルキャッスルさんで開催しました。代表幹事としてホテルキャッスルさんに御礼申し上げます。」

●田上裕章 君

「復興工事とボランティアで県南頑張っている。皆様も頑張ってください。」

●宮部康弘 君

「本日の埴田さんの卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。」

●河島一夫 君、野元知明 君

「埴田様の卓話、楽しみにしています。本日もよろしくお願い致します。」

●田中慎二 君、嘉悦雅文 君

「本日の新入会員卓話、埴田会員楽しみにしています。よろしくお願い致します。」

3. プログラム

●新入会員卓話



卓話者：堀田翔輝会員

自己紹介

私は荒尾市で株式会社アストラ機電工業を経営しております。主な仕事は、電気工事、空調工事、換気工事などの設備工事です。

もともとは電気工事を中心にしていましたが、お客様から「空調もお願いできませんか」「換気も一緒にできますか」といったご相談をいただくことが増え、現在は協力会社の皆さんにも力を借りながら、設備工事をまとめて対応できる会社を目指しています。

まだまだ会社として発展途上で、現場、人、見積、資金など、日々いろいろな課題に向き合っています。



アストラ機電工業を立ち上げるまで

私は電気工事の職人としてこの業界に入りました。現場では、どうすれば早く、きれいに仕事ができるかというのを考えながら経験を積んできました。

25歳で独立しましたが、実際に会社を始めてみると、職人として仕事をするのと、会社を経営することは全く違うと感じました。

仕事を取るだけでなく、見積、材料の手配、人の確保、請求や支払いなど、現場以外にもたくさんの仕事があります。

最初は「自分が頑張れば何とかできる」と思っていたのですが、仕事が増えるにつれて、会社としての課題も見えてきました。

仕事が増えたからこそ見えてきた課題

仕事が少ない時は、自分が遅くまで働けば何とかできました。しかし、現場や社員、協力会社が増えると、それだけでは対応できなくなってきました。

電話、見積、材料の手配、現場の段取り、お客様への連絡など、多くのことを同時に処理しなければなりません。忙しいことはお客様には関係ありません。どれだけ技術力があっても、返事が遅ければ信用を失ってしまいます。

そこで現在は、仕事を取る力や施工する力だけでなく、**「仕事をきちんと管理する仕組み」**を作ることが大きな課題だと感じています。

職人から経営者へ

私は職人出身ですので、「自分でやった方が早い」と考えてしまうところがあります。しかし、自分一人で仕事を抱えていては、会社の成長にも限界があります。

これからは社員や協力会社の皆さんに仕事を任せ、それぞれが動きやすい環境を作っていくことが必要だと思っています。

「一番仕事ができる職人になる」のではなく、「みんなが仕事をしやすい会社を作る」ことが、これからの自分の役割だと考えています。

これから目指す会社

私が目指しているのは、「とりあえずアストラに聞いてみよう」と言っていただける会社です。

電気工事だけで建物が完成するわけではなく、空調、換気、給排水、建築など、さまざまな業種が関わります。そのため、お客様にとっては「これは電気屋なのか、空調屋なのか、設備屋なのか」が分からない場合もあります。

自社でできない仕事であっても、信頼できる協力会社の皆さんと連携し、できるだけ一つの窓口で対応できる会社になりたいと思っています。

そして、「アストラに頼んでおけば安心だ」と思っていたことが、会社にとって一番大切なことだと思っています。



人とのつながりとロータリー

会社を経営するようになって、改めて人とのつながりの大切さを感じています。

仕事をいただくのも、困った時に助けていただくのも、分からないことを教えていただくのも、すべて人とのつながりです。

ロータリークラブには、私より長く会社を経営されている先輩方や、さまざまな業種の方がいらっしゃいます。

私が今抱えている悩みも、先輩方はすでに経験されていることがあると思います。これからは皆様のお話を聞かせていただきながら、経営者として、人として成長していきたいと思っています。

これからの目標

創業当初は、「父の会社を超えて見返したい」「貧乏から抜け出したい」という気持ちがありました。

しかし、会社を経営していく中で、その思いも少しずつ変わってきました。

今は、社員に「この会社で働いていて良かった」、協力会社の方に「アストラと仕事をして良かった」、そしてお客様に「アストラに頼んで良かった」と思っていたいただける会社にしたいと考えています。

売上や会社の規模だけではなく、周りの人から必要とされる会社になることが、今の私にとっての「会社を大きくする」ということだと思っています。

結び

今回の卓話を考える中で、私自身も「何のために会社をやっているのか」「どんな会社にしたいのか」を改めて考えることができました。

まだまだ経営者として未熟で、学ばなければならないこともたくさんあります。

ロータリーで先輩方からいろいろなことを教えていただきながら、私自身も成長し、いつかは「埴田に相談してみよう」「アストラに聞いてみよう」と言っていただける存在になりたいと思っています。

会社のキャッチフレーズである「明日にトライし続けるアストラ機電工業」を胸に、これからも一つひとつのご縁を大切にしながら、挑戦していきたいと思っています。

本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



株式会社アストラ機電工業
代表取締役 埴田 翔輝

株式会社アストラ機電工業 埴田 翔輝

11

4. 閉会・点鐘